

# 大学評価コンソーシアム総会

---

平成28年8月25日（木）

於：立命館大学 大阪いばらきキャンパス

## • 報告事項

- 勉強会等の記録
- 情報誌「大学評価とIR」の発行
- 人材育成について
- 幹事会の開催
- 過去1年の運営及び自己評価について
- 監査人から監査報告

## • 審議事項

- 代表幹事、幹事、監査人の選任について
- 今後1年間の活動予定

## • その他

- 第二期行動計画（平成29－33事業年度）について

- 1) 評価を通して、大学の教育、研究、諸活動の充実につなげるための支援を行う。
- 2) 実践を基本として、役に立つ知識・スキルの共有や、事例の分析を行う。
- 3) 評価に携わるすべての人（大学、評価機関、政府等）に役に立つ活動とする。

**行動計画 1**：大学評価に携わるすべての人が「評価」という取り組みを通して、大学の改善を図っていくための理解を深めるための支援を行う。

**行動計画 2**：評価人材の能力・スキルを明らかにし、評価人材が大学の改善のために効果的な支援が行えるような具体的なテーマを設定し、目的を明確にした評価人材の育成、資質の向上を図る。

# [報告] 勉強会等の記録 (行動計画1・2)

## IR実務担当者連絡会

年度	回数	会場	開催日	報告数	参加者数	満足度※
平成27	第2回	山形大学 (山形)	10月16日 (金)	5件	26名	100%
	第3回	福岡大学 (福岡)	1月8日 (金)	6件	41名	93.3%
	第4回	立命館大学 (大阪)	2月23日 (火)	5件	33名	95.2%
平成28	第1回	立命館大学 (大阪)	8月8日 (月)	4件	29名	94.7%

## 勉強会、集会等

年度	名称	会場	開催日	参加者数	満足度※
平成27	米国におけるアセスメント実践事例に関する勉強会	明治大学 (東京)	11月17日 (火)	24名	100%
	第三期中期目標・計画に関する実務担当者のための情報交換会	神戸大学 (兵庫)	12月2日 (水)	23名	96.6%
	第三者評価等のための研究力把握に関する勉強会	山形大学 (東京)	2月8日 (月)	26名	94.7%
平成28	大学評価担当者集会2016	立命館大学 (大阪)	8月25(木)-26(金)	125名	—

※満足度は5段階で肯定的な2つの段階に回答した者の割合

# [報告] 情報誌「大学評価とIR」の発行 (行動計画1)

情報誌「大学評価とIR」 (平成27年2月発刊)

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=lib>

- 評価とIRに関する実践事例などを年4回発行予定するもので、平成27事業年度は以下の4号を発行し、17編の事例報告などを掲載した。

第3号	[平成27年 (2015年)	10月31日]
第4号	[平成27年 (2015年)	12月30日]
第5号	[平成28年 (2016年)	3月31日]
第6号	[平成28年 (2016年)	7月15日]



- 
- 平成27年度：第4回 IR実務担当者連絡会（平成28年2月23日・於：立命館大学大阪いばらきキャンパス）において、IR初級人材育成プログラムの素案を報告。
  - 参加いただいた方々からは強い期待を寄せられる。
  - IR初級人材育成プログラムの開発を目指した科研費が不採択だったため、計画は一時停止。
  - 茨城大学による大学再生加速プログラム（AP）の活動の一環として「IR初級人材育成プログラム」の実施を提案したところ、採択に至る。
  - 九州大学基幹教育院（教育関係共同利用拠点事業）、山形大学（AP事業）と協力の上、年度内に2回程度の研修会開催を計画中。

# [報告] 幹事会の開催

平成27年10月16日（於：山形市）

平成28年1月8日（於：福岡大学 七隈キャンパス）

平成28年2月23日（於：立命館大学 大阪いばらきキャンパス）

平成28年5月16日（於：立命館大学 大阪いばらきキャンパス）

- ・茨城大学の大学再生加速プログラム（AP）への協力について

平成28年6月9日（於：電子メールにて実施）

- ・九州大学基幹教育院の教育関係共同利用拠点事業に関する協力について

平成28年6月16日（於：電子メールにて実施）

- ・ISM HPCCON 2016の共催について

平成28年8月9日（於：立命館大学 大阪いばらきキャンパス）

※大学評価担当者集会および情報誌に関する議題以外を表示

## 重要な決定事項の会員への周知

- IR実務担当者連絡会、勉強会、大学評価担当者集会2016の開催や内容など、重要事項については決定次第報告することが出来た、と考えられる。

## 金銭の授受を伴う事業について

- 実施していない。

## その他

- 情報誌の運営と改善（投稿区分、投稿規定、査読プロセス等の見直し）に注力した。



- 行動計画1については、評価のみならずそれと深く関係するIRも取り上げ、大学評価担当者集会に加え、各種勉強会や研修会を7回開催することで、改善支援への理解の深化と、具体的な方法の蓄積・共有を継続的に図ってきた。
- 行動計画2については、昨年度作成した評価・IR担当者の能力段階の表に基づいて研修プログラムを実施する予定であったが、資金的裏付けが担保できなかったこともあり、具体的な実施には至っていない。
- しかし、会員によるこれまでの活動経験や知見を共有することを目的とした『大学評価とIR』の継続的発刊と先に述べた勉強会等を行うことで、人材育成に寄与しているともいえる。
- 今後は、資金的裏付けが得られたこともあり、「IR初級人材育成プログラム」の展開を積極的に図っていくことが必要となる。
- それと同時に、評価とIRは活動が重複する部分と独自領域とに分けられることを踏まえるならば、個々の独自領域に関する活動を体系的に行っていくことも必要と考える。

## 監査人

浅野昭人（立命館大学 学生部 次長）

大川一毅（岩手大学 評価室 教授）

## • 選考プロセス

- 大学評価コンソーシアムでは、会員が異動により入れ替わることを想定し、選挙ではない形で幹事及び代表幹事を選ぶこととしている。
- 幹事と幹事ではない者で構成される「次期幹事選定会議」を設置し、幹事及び代表幹事の候補者を選定し、総会で諮るプロセスをとっている。
- 大学評価コンソーシアム会則第13条に基づき、平成28年8月8日（月）に立命館大学大阪いばらきキャンパスにおいて次期幹事選定会議を開催した。

# (参考：関連会則)

## 第3章 運営担当会員

### (運営担当会員の種類)

第11条 会に、次の各号に掲げる役職を置く。

- (1) 代表幹事 1人
  - (2) 副代表幹事 3人以内
  - (3) 幹事 14人以内
  - (4) 監査人 2人以内
- 2 前項(1)、(2)については、(3)の幹事の中から選任する。

### (運営担当会員の職務及び権限)

第12条 代表幹事は、会を代表し、その業務を総括する。

- 2 副代表幹事は、代表幹事を補佐し、会の業務を掌理し、代表幹事に事故があるときはその職務を代理し、代表幹事が欠員のときはその職務を行う。
- 3 幹事は、会の運営に関する実務を行うと共に重要な意思決定に参画する。
- 4 監査人は、会の活動を監査する。また、監査の結果に基づき、必要があると認めるときは、総会の際に会員に報告しなくてはならない。

### (幹事候補者等の選任)

第13条 次期幹事候補者、次期代表幹事候補者および次期監査人候補者は、幹事会のもとに次期幹事選定会議を設置し、当該委員会で候補者を選定する。

- 2 次期幹事選定委員会は10名以内とし、半数は現在、幹事である者から、残り半数は幹事ではない者から代表幹事が任命し構成する。

### (副代表幹事の選任)

第14条 副代表幹事は、代表幹事が幹事の中から任命する。

- 2 副代表幹事を任命した場合には、すみやかに会員に知らせなければならない。

### (運営担当の辞任) (運営担当の欠員)

省略

### (運営担当の任期)

第17条 代表幹事、副代表幹事、幹事、監査人の任期は、2年とし再任を妨げない。

- 2 補欠の副代表幹事、幹事、監査人の任期は、前任者の残任期間とする。

次期幹事選定会議は、以下の6名で開催した。

- **幹事**：浅野 茂（山形大）、鳶田 敏行（茨城大）、大野 賢一（鳥取大）の3名
- **幹事ではない者**：小田 美奈子（新潟大）、橋本 智也（京都光華女子大）、増田 至（立命館大）の3名
- **審議内容**
  - 次期幹事候補者について
- **コメント等**
  - 幹事や運営協力者の業務負担が高くなっていないかどうかなどの把握は必要ではないか。
  - 活動の裾野を拡げるためにも、幹事になってもらうような方を探していくやり方や自薦などについても検討してはどうか。

# [審議] 幹事・監査人候補

- ◎小湊 卓夫 九州大学 基幹教育院・准教授
- 浅野 茂 山形大学 学術研究院（企画部）・教授
- 鳶田 敏行 茨城大学 全学教育機構（IEオフィス）・准教授
- 大野 賢一 鳥取大学 大学評価室（学長室IRセクション 学長特別補佐（IR担当））・准教授
- 小林 裕美 大学共同利用機構法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター  
管理部研究協力課・課長
- 佐藤 仁 福岡大学 人文学部・准教授
- 末次 剛健志 佐賀大学 総務部企画評価課・係長（IR主担当）
- 関 隆宏 新潟大学 経営戦略本部評価センター [IR推進室兼務]・准教授
- 土橋 慶章 神戸大学 企画評価室・准教授
- 藤井 都百 名古屋大学 評価企画室・講師
- 藤原 将人 立命館大学 教学部 学事課・課長補佐
- 山本 幸一 明治大学 教学企画部 評価情報事務室・副参事
- ◆浅野 昭人 立命館大学 学生部・次長
- ◆大川 一毅 岩手大学 評価室・教授
- ◎代表幹事、○副代表幹事 ◆監査人

幹事の任期は、明後日から平成30年度の大学評価担当者集会の日までとします。

- IR実務担当者連絡会の実施
  - 平成28年度末までに3回実施（候補：新潟市、鳥取市、佐賀市）
- IR初級人材育成研修会の実施
  - 平成28年度内に2回程度実施する方向で検討中。
- 質保証、IR関係のセミナー等への協力
- 大学評価担当者集会2017の開催（平成29年8月～9月：会場未定）
- ※大学評価担当者集会は大都市近郊、連絡会等は原則として地方で実施する。

# 〔その他〕 第二期行動計画（平成29－33事業年度）について

---

- 平成28事業年度（H28.8.27-H29の担当者集会最終日）は、平成24－28事業年度の5カ年計画（「第一期行動計画」）の最後の1年となっていますので、同事業年度内に自己点検評価を行います。
- 平成29事業年度〔大学評価担当者集会2017の翌日〕から開始となる5年間の行動計画（「第二期行動計画」）の検討を行います。
- 本事業の自己点検評価に関して、会員みなさまに、Webアンケート等でご意見をお伺いする機会があるかと思いますが、その際にはよろしくお願いします。